

農産物の関税引き下げ許さない

「TPPから食と暮らしのいのちを守る県民集会」に1500人



の関税引き下げなどの譲歩は認められない。国会決議を守れ」と訴えました。吉村県知事や県議会議長なども挨拶を行いました。

公約守らぬ議員に厳しい声

一昨年の選挙で「ウソつかない。TPP断固反対。ブレない」とのポスターを掲示し当選した、自民党の鈴木憲和代議士の挨拶には、会場から「ウソつかない」とヤジが飛びま

集会后、参加者は市内をデモ行進し市民にも行動を訴えました。

並行国道の通行量・事故率が低下
とが報告されました。

GWの観光客1.4倍
集落への流入量増加で
生活環境への影響大

国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所
の近藤淳所長は、東日本大震災を教訓にした道路整備の重要性を述べつつ、日沿道の現状と整備により期待される効果として、

- ①安定的な物流ルートの確保と拠点間の交流支援
- ②災害に強い道路ネットワークの確保
- ③救急医療活動の支援を挙げました。

また、すでに日沿道が開通してきた部分に並行する国道7号線の交通量・事故率調査などから、高速道路と国道に分散することで、国道の交通量・事故率ともに減少していること

一方、未整備区間の迂回を避ける通過交通の流入の問題も紹介。

(2面につづく)

日沿道の整備について意見交換

鶴岡・村上市議会高速交通対策委合同研修会

9日、村上市で鶴岡・村上市で鶴岡市議会の高速交通対策特別委員会による、日本海沿岸東北自動車道についての研究会が開催され、加藤鉦一、菅井巖両市議が委員として参加しました。

鼠ヶ関ICフル規格化、トイレ等の設置を要望

委員の意見交換では、村上市では事業化決定後の昨年10月～11月に、市内9会場で市民公聴会を開催し、意見要望を取りまとめた

鶴岡市議会の本間新兵衛委員長は、「仮称・鼠ヶ関ICは上下線の乗り降りのできるフル規格を要望している」と報告。

村上市側から「山形県側はトンネル区間が多いが」との質問に、本間委員長は「冬期間の雪などの影響を受けにくく、安全性の面で評価されている」と述べました。

日沿道の朝日まほろばIC～あつみ温泉IC間については、昨年5月に事業化が決定し、延長40・8km(新潟側34・1km、山形側6・7km)の早期開通が期待

日本海沿岸東北自動車道(朝日～温泉)の計画内容



